

令和3年度青梅市・羽村市合同「東京の空襲資料展」 及びデジタルコンテンツの公開について

終戦から75年以上が経過し、戦争の悲惨さや平和の大切さを若い世代に伝えていく機会が減っています。東京の空襲被害や戦時中の様子、戦争の悲惨さなどを知ることで、広く平和について考える機会となるよう、3月10日の「東京都平和の日」に合わせて、羽村市と青梅市合同で「東京の空襲資料展」を開催します。

1 資料の展示「東京の空襲資料展」

期 間：令和4年3月1日（火）～令和4年3月11日（金）

※土曜日・日曜日を除く。青梅市は、木曜日（3日、10日）は午後8時まで。

会 場：（羽村市）羽村市役所1階ホール

（青梅市）青梅市役所 玄関ホール

内 容：郷土博物館に収蔵されている空襲関連資料、東京都所有の写真パネル

入 場：無料



令和2年度の様子（羽村市）



令和2年度の様子（羽村市）



令和2年度の様子（青梅市）



令和2年度の様子（青梅市）

2 デジタルコンテンツの公開について

羽村市公式サイト上に平和に関するデジタルコンテンツを開設し、市民の戦争体験談や、羽村市郷土博物館に収蔵されている戦争関連資料の動画、写真及び資料に関する解説等を掲載します。

期 間：令和4年3月1日（火）～

場 所：羽村市公式サイト <https://www.city.hamura.tokyo.jp>

内 容：市民の戦争体験談、羽村市郷土博物館に収蔵されている戦争関連資料 など

【イメージ】

焦げあとのある防空頭巾

[2021年2月10日] ID:14717

戦中に実際に使われた防空頭巾です。
昭和20年頃、八王子市で空襲にあった際、生後2か月の子どもが着用していたもので、焼夷弾により頭頂部に焦げあとがつかしました。
※画像をクリックすると、解説動画のページに遷移します。



令和2年度 東京の空襲資料展

- > 羽村市の空襲関連資料
- > 焦げあとのある防空頭巾
- > 西多摩村警防隊の沿革と人
- > 警防警報・空襲警報の発令
- > 経堂聖山に防空壕を掘る中継の山
- > 特殊防空必携
- > 国民防空課本
- > 西多摩村警防隊 防空日記
- > 西多摩村警防隊 警務日記
- > 西多摩村警防隊 記録
- > 戦後の空襲指導要領

問合せ 企画総務部企画政策課企画政策担当

電話 042-555-1111（内線 366）

Eメールアドレス s101000@city.hamura.tokyo.jp